

製品安全データシート

製造者情報：

会社名：丸昌産業株式会社
本社住所：栃木県佐野市田島町 171
担当部門：新規開発事業部
担当者：吉川貴之
緊急連絡先：TEL. 0283-22-1901（昼間・夜間）
E-mail：kaihatu@marusyosangyo.jp
作成日 2011年10月31日

【製品名】

【セルフェイスコート ステン】

【物質の特性】

混合物（酸化粒子）

【化学名】

化学名	化学式	含有量	CAS 番号
二酸化珪素	SiO ₂	企業秘	7631-86-9
水	H ₂ O	残	7732-18-5

【成分及び含有量】

企業秘

【化学式又は構造式】

【官報公示整理番号】

【CAS No】

【国連分類及び国連番号】

【物理/化学的性質】

外観（色）：透明薄青色
外観（性）：液体
沸点：約 100℃
融点：
溶解度：水に易溶
その他：

【応急処置】

眼に入った場合：

1. 直ちに水で15分以上の洗眼後、医師の手当てを受ける。
2. 洗眼は20℃～30℃程度の清浄水を使用し、擦ったり、硬く眼を閉じさせない。

皮膚に付着した場合：

1. 直ちに多量の水で洗い流し、痛みがある場合は医師の手当てを受ける。

吸引した場合：

1. 新鮮な空気に当てる

飲み込んだ場合：

1. 意識があれば多量の水を飲ませ、指を喉に差し込んで吐かせる。
2. 直ちに医師の手当てを受ける。

【火災時の処置】

消火方法：

1. この製品自体は不燃性であり助燃性もないが、この製品を取扱う作業場での火災発生時には、水などを用いた消火器を使用するのがよい。
2. この製品周辺での火災の場合は、速やかに製品を安全な場所に移す。

消火剤：

多量の水、粉末消火剤、泡消火剤

【漏出時の処置】

大量漏出：

1. 容器から流出していれば、流出防止処置を直に行う。
2. 作業の際には、適切な保護具を着用する。
3. 土砂などで流出を堰き止め、容器に回収する。
4. 公共用水域に流れない処置を行う。

少量漏出：

1. ウェスなどに吸収させて容器に回収する。
2. ウェスは焼却処分

【取り扱い及び保管上の注意】

取り扱い：

1. 床などにこぼしたら水で濡らしたウェスなどで拭き取り清掃する。
2. 皮膚接触や吸入防止のため、保護具を着用する。
3. 廃液は排水溝に捨てない。

保管：

1. 気密性のよい容器で保管する。
 2. 凍結防止箇所では保管しない。(5℃～35℃で保管)
 3. 直射日光が当たらない場所で保管する。
 4. 長期保管はしない。
-

【暴露防止処置】

管理濃度：データなし

許容濃度：日本産業衛生学会 - データなし

ACGIH - データなし

設備対策：取り扱う前に、洗眼や洗浄できる水道、シャワーの位置を確認

その位置までのルートの確保

保護対策：

保護眼鏡：側板付き普通メガネ及びゴーグル

保護手袋：ポリエチレン手袋

【危険性情報】

引火点：なし

発火点：なし

爆発限界：上限- 該当なし 下限- 該当なし

可燃性：なし

酸化性：なし

自然発火性：なし

自己反応性：なし

粉じん爆発性：なし

安定・反応性：なし

その他：

【有害性の区分】

分類の名称：無該当

有害性：データなし

皮膚腐食性：データなし

刺激性（皮膚、眼）：データなし

急性毒性：データなし

慢性毒性：データなし

がん原性：データなし

変異原性：データなし

生殖毒性：データなし

催奇形成：データなし

その他：データなし

【環境影響情報】

分解性：データなし

蓄積性：データなし

魚毒性：データなし

その他：一般水路に流入すると水質を汚濁するので、流入しないよう留意する。

【廃棄上の注意】

[取り扱い及び保管上の注意]の項の他、化学物質に関する一般的な注意事項による。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の他、地方自治体の条例に基づき、適切な産業廃棄物処理・処分業者に依頼

【輸送上の注意】

[取り扱い及び保管上の注意]の項の他、化学物質に関する一般的な注意事項による。

1. 直射日光を避ける
2. 粗暴に取り扱わない
3. 落下、転倒防止処置を行う
4. 容器の破損に注意

【適用法令】

化学物質管理促進法：非該当

毒物及び劇毒物取締法：非該当

化審法：(1) -548 (シリカ)

【その他】

記載内容のうち、全ての資料や文献を調査したわけでないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容が変更を生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめることをおすすめします。

尚、含有量、物理化学特性などの値は保証値ではありません。また、注意事項は通常的な取り扱いとしたものなので、特殊な取り扱いにはこの点のご配慮をお願いします。

また、危険有害性の評価は必ずしも十分ではないので取り扱いには十分注意してください。
